



# 緊急時でも、車両の位置情報管理と ドライバーと運行管理者の情報を リアルタイム共有

従業員が、  
自分たちの時間に、  
余裕をもてるように



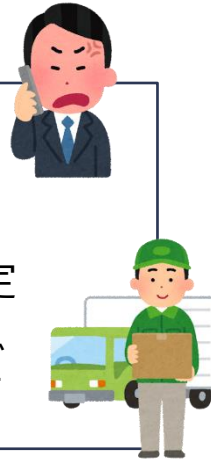
I N D E X

1. 物流現場は課題がたくさん
2. そんなあなたの現場の課題を解決
3. 物流業界の情報連携に必要な機能がBuddycom 1つで
4. お客様導入事例
5. IoTとの連携 - バーコード読み取りやストレージ保存
6. 無料トライアルで実際に使ってみよう
7. 会社概要

# 1. 物流現場は課題がたくさん

## 声が届かない

- 倉庫内と外では無線機の電波が届かない
- MCA無線が車両に固定されており応答が車両内に限定
- MCA無線は機材の設置や取り外しが必要で面倒 など



## 情報共有が非効率

- 1対1で指示出しすると情報共有できてない従業員が出る
- どの従業員に情報伝達したか管理できていない
- 外国人従業員とうまくコミュニケーションをとれない など



## バディコムを導入すると・・・

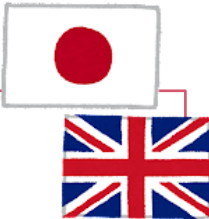
## クリアな音声で世界中どこでも

- 4G回線やWi-Fiを使用するので室内屋外関係ない
- スマホを持ち運べばどこでも簡単に使用できる
- 場所を選ばずグループへの一斉連絡で業務効率化



## 情報共有がスムーズに

- グループ通話を利用し、現場全員に知らせることが可能
- 同時翻訳機能により外国人従業員とのコミュニケーションが円滑に



# Buddycomを使えば、物流現場の課題を全て解決

### これまで

- 倉庫スタッフとスムーズに連絡が取れない
- MCA無線機は車両固定なので車外へ持ち出せない
- 無線機を使っているが、相手が言ったことを聞き逃して  
いて再度聞き直す必要がある
- 音声通話で会話しても、詳細が伝わらない



### これから

- どこにいても電波の良し悪しを気にせず一斉通話や  
1対1会話もできることが大きな強み
- スマホなので車外への持ち出しも可能
- 話した内容がテキスト化される&音声が残るので  
後で確認することができる
- 画像や映像も共有でき、目で見てコミュニケーションが  
取れる

4G、5G、Wi-Fiなどのインターネット回線を使用し、リアルタイムなチームコミュニケーションが可能です。  
電話や無線機、インカムに代わるシステムとして、現場のDX化を促進します。

### 【電話使用時】の従来の課題が解決！

#### 課題1

1:1でしか会話できず、  
チームで情報を共有する  
場合不便



#### 課題2

スマホの電話帳を開き電  
話かける必要があり、  
時間がかかる



#### 課題3

通話データが残らず、あ  
とから確認・二次利用で  
きない



#### グループ通話

1：複数人への一斉発信により、一回の連絡でチ  
ーム全員に情報共有ができます。双方向通話にす  
れば相手の終話を待たずに発信できます。



#### 一瞬で会話開始

イヤホンマイクやスピーカーマイクを  
使って一瞬で会話開始。顔認証や音声  
認識で会話できるモードもあり。



#### 会話は自動保存

通話内容はテキスト化し自動保存。あと  
から簡単に確認でき、ダウンロードもで  
きます。2次利用可能。

### 【トランシーバー、インカム使用時】の従来の課題が解決!

#### 課題1

専用機と携帯電話の**2台**  
持ちだとコストも荷物も  
かさむ



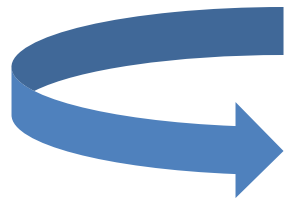
#### 課題2

通信距離の制限があり、  
**近い距離**しか通話が届か  
ない



#### 課題3

グループ数に制限があ  
り、**混信、盗聴**のリスク  
がある



#### 低コスト

スマートフォンに無線機能を集約できるので専用機が不要になり、専用機のコストを削減することができます。



#### 世界中で話せる

インターネット通信(4G,5G,Wi-Fi)を使用するため、インターネットが繋がるエリアであれば距離を気にせずどこでも通話できます。



#### 大規模な運用

グループ数無制限、ユーザー数も無制限(検証は1グループあたり2,000ユーザー)の大規模運用に対応しています。



#### 高セキュリティ

通信、データの暗号化によって通話を守っています。さらに高セキュリティなエンドツーエンド暗号化機能も提供可能です。

# Buddycomが物流現場で必要とされる理由

### かんたん

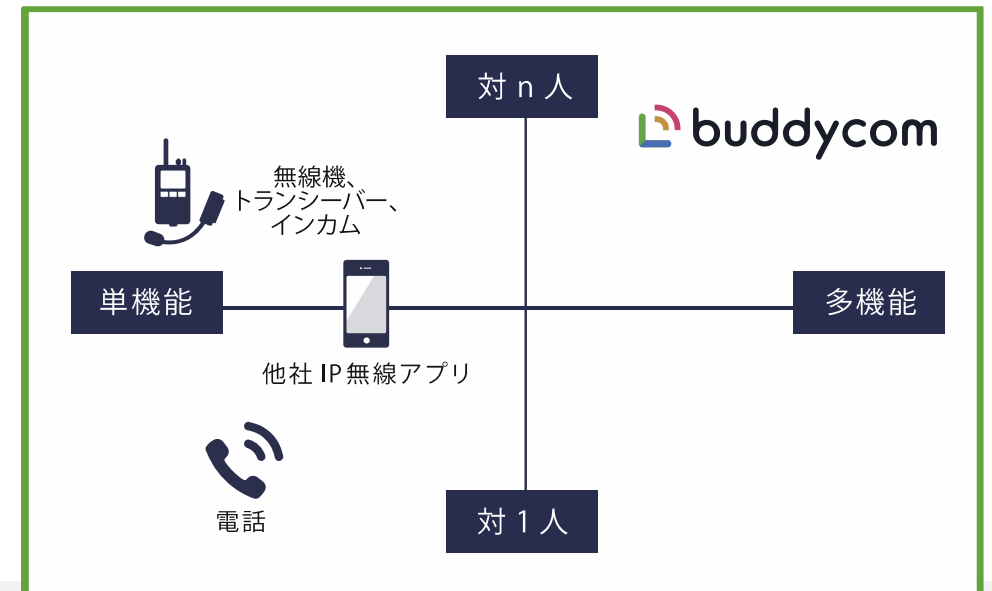
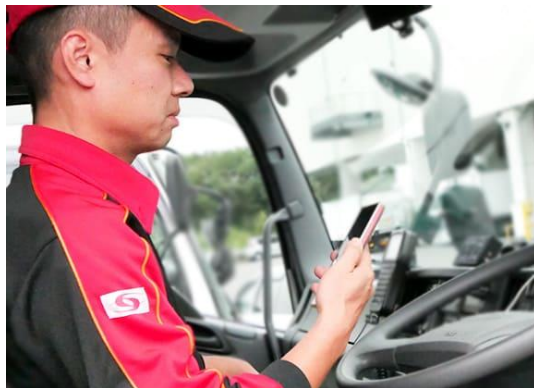
国籍、人種、  
年齢に関わらず、  
誰でも使える

### 速い

刻々と変わる  
状況に対応した  
情報共有のスピード

### 間違わない

操作ミスや想定外の  
動きが起こらない



## 2. そんなあなたの現場の課題を解決

### バディコムの利用シーン

- ドライバーと運行管理者の間で情報をリアルタイムに共有
- 各営業所の運行管理者が車両の位置情報を管理し、車両への指示をスムーズに行う
- 運行管理者、ドライバー、倉庫スタッフの連絡ルートを1元化



ボタンを押すだけでかんたんに会話できるので、どんな年代の方でもすぐに使い始められます！



#### 音声通話



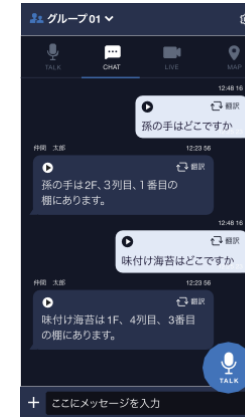
##### ● グループ通話、双方向通話、マルチグループ受信

- ・ボタンを押すだけでグループのユーザーへ一斉に発信できます。
- ・無線機と違い、相手の終話を待たずに発信できる双方向での通話も可能です。
- ・複数グループの会話を受信することもできます。

##### ● メリット

話すまでのステップが少ないので、不明点や確認したいことがすぐに誰かに聞けるため、現場で働く方の不安が軽減されます。

#### チャット



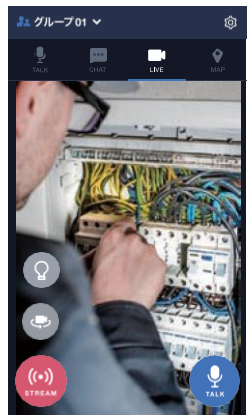
##### ● 音声テキスト化、履歴再生、定型文、翻訳

- ・話した内容が即座にテキスト化されます。
- ・話した内容は自動で保存されるため、後から再生できます。
- ・定型文を10個まで作成できるので、定期的なアナウンスなどに便利です。
- ・複数言語への同時翻訳ができるため、多国籍な現場でも通訳を介さず情報共有できます。

##### ● メリット

聞き逃したことを後から何度でも確認できます。  
多国籍な現場でも円滑なコミュニケーションを実現します。

#### ライブキャスト(映像共有)



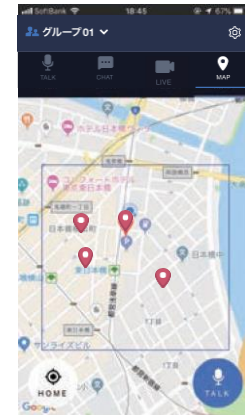
##### ● 映像共有+音声通話

- ・現場の状況をライブ映像で共有しながら会話ができます。
- ・高画質な映像を低遅延で複数人と共有できるので、現場の遠隔支援に活用できます。

##### ● メリット

音声や画像だけでは伝えにくい情報でも、映像を見せながら会話することで、正確な情報共有を実現します。

#### MAP 通話



##### ● 位置の確認、範囲通話

- ・ユーザーの位置情報の確認ができます。
- ・MAP上にいるユーザーのうち、枠で囲ったユーザーだけに発話することができます。

##### ● メリット

緊急時に現場に近いユーザーとのみ話したい、同じエリア内で情報を共有し、連携を図りたいといったニーズに応えます。

#### エンドツーエンド暗号化(E2EE)



##### ● 機能

1つのデバイス（たとえばスマートフォンやPC）でメッセージを暗号化し、送信先のデバイスでしか復号できないようにする技術。音声・チャット・映像・位置情報のE2EE対応を実現しております。

##### ● メリット

万が一、通信やサーバーでの傍受がされても、解読できないため、機密性の高い現場でも安心して利用することができます。

#### ディザスタリカバリー対応



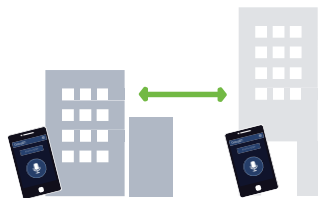
##### ● 機能

サーバーは日本だけではなく、アジア、ヨーロッパ、北米の4リージョンの構成で同時稼働しております。障害発生時は自動で切り替え、24時間365日のサービス提供を確実なものとしております。

##### ● メリット

災害などの発生時にも利用することができるため、ミッションクリティカルな現場でも利用することができます。

#### 企業間通信



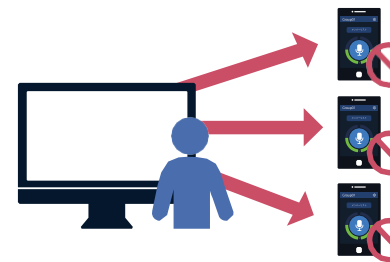
##### ● 機能

契約が異なる企業のユーザー同士でも、1つのグループを作成し、グループコミュニケーションが図れる独自サービスです。

##### ● メリット

同じ現場で働いている別会社、現場と本社でのコミュニケーションができます。また予実管理の都合上、部署ごとに分けて契約を行った場合でも、異なる契約ユーザー同士でコミュニケーションができます。

#### アプリ設定の一括管理・機能制限



##### ● 機能

管理コンソールでスマホアプリの設定や機能を一括管理できます。ユーザーの予期せぬ操作、設定変更も防止できます。

##### ● メリット

たくさんのユーザー数でも、簡単な管理を可能とし、社内統制の徹底ができます。

### 3. 物流現場の情報連携に必要な機能がBuddycom1つで

簡単



初期費用



導入コスト



スマホがあれば初期費用もかからず、アプリをインストールするだけで簡単に利用開始。シンプル操作で導入コストもかかりません。

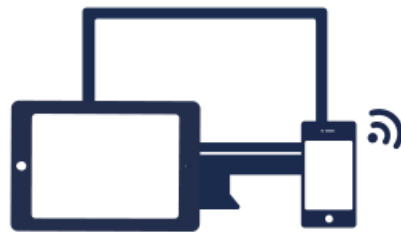
アクセサリ(周辺機器)を利用すれば、ハンズフリーで通話できます。

必要な構成

iOS Android



Buddycomアプリ



スマホ/タブレット/PC



データ通信/Wi-Fi

+



周辺機器 (オプション)

物流現場のニーズに合わせて、様々なアクセサリーの取り揃えております

有線	 <p>MKI-P4</p>
無線	 <p>AINA VR      MKI-P3      Jabra Perform 45</p>

#### ■ 周辺機器の使い方

- 運転中にはスピーカーマイクが利用可能 (MKI-P4、AINA VR)
- 騒音環境には、ノイズキャンセリング機能付きのAINA VRがおすすめ
- 倉庫スタッフにはイヤホン部分は交換できるMKI-P3や完全ワイヤレスのPerform45がおすすめ

[全ての周辺機器を見る](#)

ベーシックな屋内向けの有線イヤホンマイクを始めとし、製造・建設業では防水・防塵、ノイズキャンセラーが備わった屋外向けの無線スピーカーマイク、ハンズフリーでLivecast（映像配信）機能を使いたい現場ではスマートグラスと言ったように、様々な現場のニーズに合わせて、多種多様なアクセサリーを取り扱っております。

## 4. お客様活用事例



導入事例を見る

# 「MCA無線以上の機能をアプリで手軽に実現」

～私達は社会から「道路」という仕事を借りて業務をさせて頂いている～

使用機能: グループ通話、通話履歴の再生

### 導入前の課題

MCA無線を導入していたが、通話エリアが狭く、遠方ではなかなか無線が届かないことがあった。通信エリアが限定されていたことにより導入できない事業所があったことや、MCA無線が車両に固定されていたため、応答が車両内に限定されていたことが課題。

### 利用シーン

- ・管理側とドライバーや、ドライバー同士の位置情報の共有
- ・納品時間をコントロールするための待機連絡に利用している
- ・大雪等で各地の配送に大きな影響が出た際、位置情報を確認しながら各ドライバーへの的確な指示が出せた

### 導入の効果

- ランニングコストの削減、簡単に使える事で運転手の負担を軽減しています
- スマホにすることで持ち運び可能、さらに道交法で利用許可ののでているAINA PTT Voice Responder(Bluetoothスピーカーマイク)を使えばスマホ画面を見ることなく音声の受発信が可能です



## Buddycomでもバーコードを読み取れるけど、更に使いやすく！

SOLUTION

SCANDIT

# SCANDIT

ハンディターミナルと比較して最大3倍の速さでデータを正確にスキャンし、読みにくいバーコードや、光の反射や角度による悪条件下でもストレスなくスキャンできます。

with Buddycom

詳細はこちら

### Buddycomのバーコード読み取り機能を Scanditでグレードアップ

Scanditと連携することで、BuddycomからScanditのバーコードリーダーを利用できます。取得したデータを活用することで、バーコードを活用したコミュニケーションの実現が可能になります。



※お客様がScanditを契約している必要があります。  
例) Buddycomで、商品番号を正確に伝えたいとき、バーコードを読み取り、送信します。相手はその商品番号を用いて、他のアプリで在庫を確認できます。

### Buddycom with Things その他IoT連携も随時開発中

Buddycomは、人と人のコミュニケーションだけでなく、人（Human）と、あらゆる情報（Things）の、コミュニケーションを可能にします。



## 現場のコミュニケーションをセキュアにクラウド保存、2次利用可能に

### SOLUTION

### Dropbox / Box

ファイルをクラウド上のストレージに保存・同期し、安全に共有するためのサービスです。



Dropbox詳細

Box詳細

with Buddycom

### 現場の映像、音声データを活用、現場のDX化を推進

現場でやりとりした音声、テキスト、画像、動画などのデータをクラウド上に自動で保存可能。



## 6. 無料トライアルで実際に使ってみよう

# Buddycomを試してみませんか？

Buddycomは10ユーザーまで1ヶ月無料でトライアルができます。  
実際に触ってみて、使い心地をお試ください。

無料トライアルを申し込む

トライアル費用は発生しません。  
トライアル終了後は、解約等の操作は必要ありません。



お役立ち資料ダウンロード



The screenshot shows the Buddycom trial sign-up page. At the top is the Buddycom logo. Below it, the text asks 'Buddycomを試してみませんか?' (Would you like to try Buddycom?). It states '10ユーザーまで、1か月間無料で試せます。' (Up to 10 users, 1 month free trial). There is a note: 'メールアドレスを入力すると確認コードが届きますので、トライアル版の登録をしてください。' (When you enter your email address, a confirmation code will be sent, so please register for the trial version). There is an input field for 'メールアドレス' (Email address) and a 'Buddycomを始める' (Start Buddycom) button. A link '既に登録している方はこちら' (Click here if you are already registered) is also visible.

無料トライアル手順はこちら



## 7. 会社概要

会社名	株式会社サイエンスアーツ
所在地	東京都渋谷区渋谷1丁目2-5 MFPR渋谷ビル5F
代表者	代表取締役社長 平岡 秀一
設立	2003年9月19日
資本金	5,000万円



ミッション	世界中の人々を美しくつなげる
事業内容	デスクレスワーカー※をつなげるライブコミュニケーションプラットフォーム「Buddycom(バディコム)」の開発・販売
Buddycomリリース	2015年9月

※デスクレスワーカーとは机の前に座らない最前線で活躍する労働者のこと。  
農業、教育、ヘルスケア、小売、ホスピタリティ、製造、輸送、建設などの産業に従事しております。



大手企業からSMBまで

# 600社を超えるお客様が導入中

ホームページを見る

無料トライアルをする

お問い合わせ

